



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マーベラス

コード番号 7844 URL <https://corp.marv.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 許田 周一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理統括本部長 (氏名) 加藤 征一郎 TEL 03-5769-7447

四半期報告書提出予定日 2020年8月4日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,668	3.3	890	34.4	891	44.1	593	72.8
2020年3月期第1四半期	4,518	△28.2	662	1.8	618	△11.6	343	△22.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 576百万円 (88.7%) 2020年3月期第1四半期 305百万円 (△37.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	11.06	-
2020年3月期第1四半期	6.64	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	29,079	23,919	82.3	396.27
2020年3月期	26,238	20,099	76.6	388.48

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 23,919百万円 2020年3月期 20,099百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	0.00	-	33.00	33.00
2021年3月期	-	-	-	-	-
2021年3月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難であることから、未定とさせていただきます。今後、連結業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P.6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	62,216,400株	2020年3月期	53,593,100株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,856,367株	2020年3月期	1,856,367株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	53,631,964株	2020年3月期1Q	51,720,679株

（注）期末自己株式数については、「株式給付信託（BBT）」の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が所有している483,900株を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現段階において合理的に算定することが困難であることから、未定とさせていただきます。今後、連結業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。なお、詳細につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(第1四半期連結累計期間)	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	7
(株主資本等関係)	7
(セグメント情報等)	8
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるエンターテインメント業界は、国内のモバイルゲーム市場におきましては、依然として厳しい競争環境が続きながらも、新型コロナウイルスによる外出自粛の影響でユーザーのプレイ時間の増加傾向が見られるなど、市場全体として好調に推移いたしました。家庭用ゲーム市場におきましても、同様に巣ごもり需要により好調に推移し、ハード・ソフトともに前年の市場規模を上回りました。アミューズメント市場およびライブエンターテインメント市場におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛要請や施設の閉鎖、イベント自粛要請により、市場環境が大きく悪化いたしました。音楽映像市場におきましては、同様に新型コロナウイルスの影響によりテレビアニメの放送延期が相次ぎましたが、一方、動画配信市場は巣ごもり需要により利用者が大幅に増加し、活況を呈しました。

このような状況下、当社グループは、多彩なエンターテインメントコンテンツをあらゆる事業領域において様々なデバイス向けに展開する「マルチコンテンツ・マルチユース・マルチデバイス」戦略を基軸とした総合エンターテインメント企業として、強力なIPの確立に向けたブランディング戦略・アライアンス戦略・グローバル戦略を積極的に推進し、話題性の高いコンテンツの提供とサービスの強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年6月30日）の経営成績は、売上高4,668百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益890百万円（前年同期比34.4%増）、経常利益891百万円（前年同期比44.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益593百万円（前年同期比72.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①オンライン事業

当事業におきましては、リリースから3年目となる『シノビマスター 閃乱カグラ NEW LINK』が引き続き好調に推移したことに加え、6周年を迎えた『剣と魔法のログレス いにしへの女神』が、コラボ施策等により好調な売上を記録いたしました。また、2020年5月に配信を開始したスマートフォン向け新作タイトル『一騎当千エクストラバースト』も順調に立ち上がり、新作・既存タイトルともに好調に推移いたしました。なお、中国発の弾幕シューティングRPG『ガール・カフェ・ガン』につきましては、開発元であるSeasun Gamesの日本子会社である株式会社西山居へ、2020年7月22日付で配信・運営を移管いたしました。

この結果、当事業の売上高は2,068百万円（前年同期比24.7%増）、セグメント利益は582百万円（前年同期比77.4%増）となりました。

②コンシューマ事業

当事業のゲームソフト販売部門におきましては、国内においては新作ゲームソフトの発売はありませんでしたが、巣ごもり消費により利益率の高いリピート販売や、米国子会社でのSteamサマーセールが好調に推移いたしました。

しかしながら、アミューズメント部門におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、緊急事態宣言による店舗の休業や外出自粛により、主力であるキッズアミューズメントマシン『ポケモンガオーレ』をはじめとした全機種において、インカムが大きく低下いたしました。

この結果、当事業の売上高は1,623百万円（前年同期比7.8%減）、セグメント利益は442百万円（前年同期比12.7%増）となりました。

③音楽映像事業

当事業の音楽映像制作部門におきましては、TVアニメ『ミュージクルドリーミー』と『啄木鳥探偵處』の放送を開始いたしました。『ミュージクルドリーミー』につきましては、新型コロナウイルスの影響により一部放送を延期いたしました。また、『やはり俺の青春ラブコメはまちがっている。完』のTV放送を4月から7月に延期、プリキュアシリーズの『映画プリキュアミラクルリブ みんなとの不思議な1日』の公開延期に伴い、それぞれの関連商品の発売を延期いたしました。

ステージ制作部門におきましては、新型コロナウイルスの影響により、当四半期に予定していた「ミュージカル『薄桜鬼 真改』相馬主計 篇」、「ミュージカル『テニスの王子様』 コンサート Dream Live 2020」、「『ダイヤのA』 The MUSICAL」、「舞台『刀剣乱舞』 綺伝 いくさ世の徒花」の公演を中止いたしました。なお、「ミュージカル『薄桜鬼 真改』相馬主計 篇」、「ミュージカル『テニスの王子様』 コンサート Dream Live 2020」につきましては、前期に公演中止損を特別損失として計上済みとなります。

この結果、当事業の売上高は977百万円（前年同期比11.0%減）、セグメント利益は280百万円（前年同期比18.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、資産29,079百万円（前連結会計年度末比2,841百万円増）、負債5,160百万円（前連結会計年度末比979百万円減）、純資産23,919百万円（前連結会計年度末比3,820百万円増）となりました。

（流動資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金、たな卸資産の増加等により21,094百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,561百万円増加いたしました。

（固定資産）

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、無形固定資産の増加等により7,985百万円となり、前連結会計年度末に比べ280百万円増加いたしました。

（流動負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、買掛金、未払金の減少等により5,048百万円となり、前連結会計年度末に比べ974百万円減少いたしました。

（固定負債）

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、資産除去債務の減少により111百万円となり、前連結会計年度末に比べ、4百万円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度の配当による利益剰余金の減少があったものの、第三者割当増資の払込みに伴い資本金2,483百万円、資本剰余金2,483百万円を計上したこと、及び親会社株主に帰属する四半期純利益593百万円を計上したことにより23,919百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,820百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、従業員およびその家族の健康に配慮し、不要不急の出張・会食の禁止、大人数での会議の自粛やテレビ会議の活用などの対応をとってまいりました。さらに、4月上旬以降は、日本国内での感染拡大を鑑み、全社レベルでの在宅勤務を強く推進することとし、感染リスクの低減に取り組んでおります。また、在外子会社におきましても、各国の国策に基づく外出制限等により事業活動の制限を受けておりますが、影響を最小限に抑えるよう日々努めております。2020年3月期におきましては、業績への影響は限定的でしたが、新型コロナウイルスのさらなる感染拡大や長期化、それに伴う政府の対策などを考慮した場合、2021年3月期の業績へ与える影響は、少なくないものと考えております。

オンライン、コンシューマゲームにおきましては、新型コロナウイルスの影響は今後も限定的と考えておりますが、現時点ではアミューズメント、音楽映像、ライブエンターテインメントの各事業が大きな影響を受けております。アミューズメント事業は、外出自粛要請や国内外の店舗休業による筐体の稼働停止により、主力の「ポケモンGO」をはじめとしたアミューズメントマシン全般のインカムが大幅に落ち込んでおります。また、音楽映像、ライブエンターテインメント事業におきましては、大規模イベントの自粛要請やお客様、キャスト、スタッフへの感染懸念により、現時点でもイベントや舞台等の中止が続いており、今後長期化が進むにつれて、さらに影響が拡大するものと懸念しております。

このような状況から、2021年3月期の通期業績見通しにつきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難なため、未定とさせていただきます。今後、開示が可能となった時点で速やかに公表させていただきます。当社グループとしては、「マーベラスだからこそ」の付加価値を創出し、企業理念である、今までにない「驚き」と「感動」を世界に届け、革新的なエンターテインメントを創造することに引き続き取り組んでまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,169	13,578
受取手形及び売掛金	3,684	2,763
電子記録債権	115	139
たな卸資産	1,475	2,084
その他	2,102	2,530
貸倒引当金	△14	△3
流動資産合計	18,533	21,094
固定資産		
有形固定資産	301	337
無形固定資産	752	1,159
投資その他の資産		
投資有価証券	4,696	4,536
その他	1,970	1,966
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	6,652	6,487
固定資産合計	7,705	7,985
資産合計	26,238	29,079
負債の部		
流動負債		
買掛金	992	728
短期借入金	200	160
未払金	2,253	1,544
未払印税	1,510	1,312
未払法人税等	44	137
引当金	334	88
その他	687	1,076
流動負債合計	6,023	5,048
固定負債		
役員株式給付引当金	67	67
資産除去債務	48	43
固定負債合計	115	111
負債合計	6,139	5,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,128	3,611
資本剰余金	6,260	8,744
利益剰余金	14,720	13,590
自己株式	△1,923	△1,923
株主資本合計	20,186	24,023
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△45	△47
為替換算調整勘定	△42	△56
その他の包括利益累計額合計	△87	△104
非支配株主持分	0	0
純資産合計	20,099	23,919
負債純資産合計	26,238	29,079

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	4,518	4,668
売上原価	1,999	1,916
売上総利益	2,519	2,752
販売費及び一般管理費	1,856	1,862
営業利益	662	890
営業外収益		
受取利息	19	17
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	0	2
営業外収益合計	20	20
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	62	19
その他	1	0
営業外費用合計	64	19
経常利益	618	891
特別損失		
固定資産売却損	0	—
特別退職金	※1 21	—
公演中止損失等	—	※2 12
特別損失合計	22	12
税金等調整前四半期純利益	595	879
法人税等	252	285
四半期純利益	343	593
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	343	593
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	△2
為替換算調整勘定	△47	△14
その他の包括利益合計	△37	△16
四半期包括利益	305	576
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	305	576
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年5月25日開催の取締役会決議に基づき、2020年6月11日付で、Image Frame Investment (HK) Limitedから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金が2,483百万円、資本剰余金が2,483百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が3,611百万円、資本剰余金が8,744百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(取締役に対する株式報酬制度)

当社は、中長期的な業績向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的とし、株式報酬制度「株式給付信託(BBT(=Board Benefit Trust))」を導入しております。当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じて、総額法を適用しております。

(1) 取引の概要

当社は、取締役役に役員及び業績達成度等により定まるポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式等を給付します。

取締役が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として退任時となります。

取締役に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分割管理するものとします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付帯する費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度414百万円、483,900株、当第1四半期連結会計期間414百万円、483,900株であります。

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が少なくとも一定期間続くとの仮定のもと会計上の見積りを会計処理に反映しております。なお、当該会計上の見積りの仮定については前連結会計年度から重要な変更はありません。

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

※1 特別退職金

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

国内子会社において特別退職を実施したことによるものであります。

※2 公演中止損失等

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

新型コロナウイルスの影響を受け、舞台公演等を中止したことによるものであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
減価償却費	175百万円	121百万円
のれんの償却額	47百万円	—

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年6月30日）

配当金支払額

2019年5月13日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

① 配当金の総額	1,723百万円
② 1株当たり配当額	33円00銭
③ 基準日	2019年3月31日
④ 効力発生日	2019年6月3日
⑤ 配当の原資	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、「株式給付信託 (BBT)」が保有する当社株式 (2019年3月31日基準日：500,000株) に対する配当金16百万円が含まれております。

当第1四半期連結累計期間（自2020年4月1日 至2020年6月30日）

1. 配当金支払額

2020年5月12日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

① 配当金の総額	1,723百万円
② 1株当たり配当額	33円00銭
③ 基準日	2020年3月31日
④ 効力発生日	2020年6月9日
⑤ 配当の原資	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、「株式給付信託 (BBT)」が保有する当社株式 (2020年3月31日基準日：483,900株) に対する配当金15百万円が含まれております。

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2020年5月25日開催の取締役会決議に基づき、2020年6月11日付で、Image Frame Investment (HK) Limitedから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金が2,483百万円、資本剰余金が2,483百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が3,611百万円、資本剰余金が8,744百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	オンライン 事業	コンシューマ 事業	音楽映像事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,658	1,761	1,098	4,518	—	4,518
セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	—	—	0	△0	—
計	1,658	1,761	1,098	4,518	△0	4,518
セグメント利益	328	392	344	1,064	△402	662

(注) 1 セグメント利益の調整額△402百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	オンライン 事業	コンシューマ 事業	音楽映像事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,067	1,623	977	4,668	—	4,668
セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	—	—	0	△0	—
計	2,068	1,623	977	4,669	△0	4,668
セグメント利益	582	442	280	1,305	△414	890

(注) 1 セグメント利益の調整額△414百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり四半期純利益	6円64銭	11円06銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	343	593
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	343	593
普通株式の期中平均株式数(株)	51,720,679	53,631,964

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 「株式給付信託(BBT)」制度に関する資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

1株当たり四半期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前第1四半期連結累計期間500,000株、当第1四半期連結累計期間483,900株であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。